

# 卒業生だより 現役生のみなさん 私たちは、いろんな仕事で頑張っています。

## ステージをデザインする

追上 真弓 芸能文化科 3 期生



舞台照明家とは、演出家の思い描くものを、光を用いて舞台上に空間デザインする役割を持つ人です。

劇場の客席から帰られるお客様の満足げな表情を見ると、ああよかったと公演の都度に思います。

この職業についたきっかけは、いくつかありますが、芸能文化科の鑑賞授業で、様々な劇場に足を運び作品に触れた折、客席から見えない場所で動いている裏方スタッフさんがいることで華やかなステージが支えられているのだなあと感じたことです。



まずステージの裏方という世界に興味を持ちました。

その中で舞台照明を選択した理由は、単純ですが、自らデザインをしたい想いが強かったからだと思います。10代の頃に iPhone や iPad が手元があれば、また違った人生になっていたかもしれません。

現在は自分のデザインの現場を年に数本いただいており、それ以外のスケジュールは他のデザイナーさんのアシスタントとして劇場に入ることも多いです。

新しい演出方法や照明機材と対面する機会も多く、日々勉強は続きます。

## 人生を後押しする仕事

スミス (松本) 義恵 普通科 23 期生

自分の生き方を見つめ直し、人生の設計図を描くライフデザインセミナーの講師、ならびにキャリアコンサルタントをしています。セミナーでは自分の将来のありたい姿を描いていくのですが、それまで将来のことは漠然としか考えてこなかったり、なんとかなる〜と楽観的に考えていたりした人が、セミナー受講で意識が変わり、自分のやりたいことを明確にされます。受講者が前向きに生きていこうとする姿(変化)を見ることができるのが、この仕事の魅力です。

セミナーで伝えっぱなしで終わるのではなく、終了後は個別にカウンセリングもさせていただいております。セミナーで描いたありたい姿をもとに、次はその方のキャリアを少し深く、一対一で一緒に考え、一歩踏み出すお手伝いをしています。

学生時代から人のお役に立つこと、人を支援することを喜びとできる私でした。40歳代で産業カウンセラーの資格を取ったのがきっかけで、企業の人事部門で人材育成に携わり、その後、セミナー講師、キャリアコンサルタントへと活動の幅を広げていき、現在の私があります。



## 歯科衛生士をご存知ですか

愛尾 貴子 (旧姓 山田) 普通科 30 期生



歯科衛生士とは、どのような仕事をしているのかご存知でしょうか？

歯や口腔環境のケアを通じて人々の健康をサポートする仕事です。

私が志望したのは、中学生の頃に歯列矯正で阪大病院に通院していて、歯科衛生士の方々の生き生きとした姿を間近で見っていたからです。

キャリアアップを目指して認定歯科衛生士資格を取得し、現在私は、日々臨床の場で患者さんと向き合う傍ら、大学や歯科衛生士専門学校において非常勤講師として教鞭をとっております。口腔の健康は、自分の歯でおいしく食べる、楽しく会話するなど健康な生活を過ごす基本となります。歯科衛生士は自身のライフステージに合わせて働くことができ、生涯を通して活躍できる国家資格です。

信頼関係にもとづく心優しい医療を行うためにも、歯科衛生士の役割が重要となります。

Q.O.L (クオリティ・オブ・ライフ=生活の質) の向上を目指し、食べる力、生きる力をサポートする歯科衛生士となり、あなたも活躍されてみませんか？

